

## 中国南部貴州省の少数民族の人たちとその生活 – 2019年の招待撮影行

長岡 正利

中国の貴州省は、雲南省から東方の湖北省に向かって低くなる、標高1000m前後の、雲貴高原と呼ばれる起伏に富んだ山地になっています。

貴州省の広域には古生代の石灰岩が分布して、中国有数のカルスト地帯(中国南方カルスト)となっており、一部は世界遺産に登録されています。大きな平地がないことから、「地に三里の平地無し」と言われ、全域が亜熱帯高原であるため、極端な暑さ寒さはないものの、降水量は多く、晴天の日が少ないとから、「天に三日の晴れ無し」。僻遠のこの地は、昔は貧しかったがゆえに、「人に三錢の金無し」。

すばらしい自然に恵まれ、今は、近代化進展の中での心暖かな人達の地です。



(中国「貴州省」の位置)



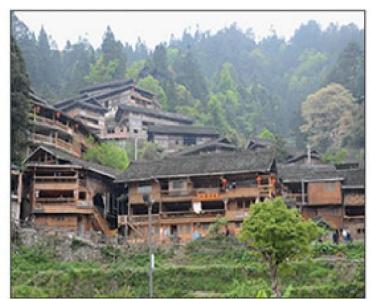
貴州省の省都・貴陽市には、明の萬曆帝の時代に、「科挙」合格者が出ることを祈念した高秀樓が現存。



市街地から離れた農山村にも、突然に高層ビル群が出現。



山間部が多く、農耕地の殆どは見事に作られた棚田。  
(日本でも、むかし、よく見た風景。)



少数民族「苗(ミャオ)族」の一聚落。  
下写真の「黔東南苗族侗族自治州雷山県郎徳苗寨」で。

貴州省の人口は約3856万人で、漢族が64%(約2637万人)。少数民族で多いのは苗族463万人で、以下、布依族308万人、侗族193万人と続きます。省面積の1/2以上が少数民族の自治区域となっています。[以上の統計データの出典は、2022年・中文版「維基百科」など。]

秘境の名の高い贵州ですが、省都・貴陽は昆明などからの全国高速鉄道網に組み込まれ、全国土に拡がる五縦七横の国家級高速道路のほか、省級の高速道もあって、小規模聚落にも舗装道路が通じています。

ここでは、省都・貴陽市や古都鎮遠などに加えて、6つ少数民族地の人たちと、その生活を紹介します。なお、民族が同じでも、その聚落(寨；村)が違えば、人々の装いなどは違うのが普通です。下は、苗族の「郎徳」村にての。



村の入り口で、歓迎の芦笙演奏。  
(貴州省の「郎徳苗寨」で。)



広場の中央での芦笙。重低音の大笙から、旋律演奏の小型まで。  
昔が想われる懐かしいメロディの。



芦笙を囲み、総出での旋廻。



村へ入る前の、お酒でのお出迎え

【参考資料】「貴州省日本観光センター」ホームページ(邦文版)；綺麗な写真もご覧になれます。

中文版Wikipedia(維基百科)の「貴州省」と、Web「人民網」中文版トップから→「地方」→「黔」→「貴州省」